

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~1日	9月 ~8日	9月 ~15日	9月 ~22日	9月 ~29日	10月 ~6日	10月 ~13日	10月 ~20日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	107	34	35	26	31	31	23	16 (21)	5
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	37	9	27	14	20	15	11	13 (14)	5
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	12	3	7	3	1	4	2	1 (2)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	17	3	3	1	2	6	3	0 (3)	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	12	3	5	1	3	3	2	3 (4)	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	2	0	0	3	0	1	0	1	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第42週(10月14日~10月20日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	1	結核	1							1
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4		1			2	1	
四類	12	重症熱性血小板減少症候群	1					1		
		日本紅斑熱	11		2	2	1		5	1
五類全数	10	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		1			1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	2					2		
		百日咳	5		1			3		1

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

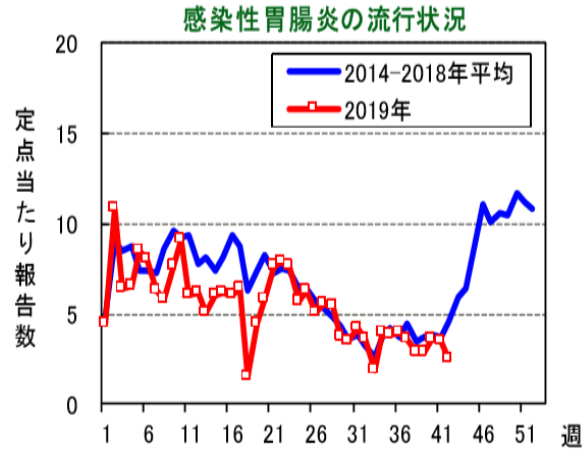
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 感染性胃腸炎

定点当たり2.54人の報告がありました。
 例年11月頃からノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が増加するため、今後の動向に注意が必要です。
 手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を心がけましょう。

2. インフルエンザ

11人(定点当たり0.30人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。
 健康管理に注意し、流行前のワクチン接種、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
フィン	インフルエンザ	11	0.30	0.18		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.67		急増減	↑	
小児科	咽頭結膜熱	1	0.04	0.37		眼科	RSウイルス感染症	40	1.67	1.08	微増減	↗		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.17	2.03	↘		急性出血性結膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	61	2.54	4.62	↘		流行性角結膜炎	10	1.25	0.65				
	水痘	2	0.08	0.33		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	36	1.50	1.32	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	伝染性紅斑	7	0.29	0.12			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.17				
	突発性発しん	11	0.46	0.41			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.28			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	14	男性(30歳代)・O157、男性(60歳代)・O157・市外
4	重症熱性血小板減少症候群	1	1	男性(70歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	7	男性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	10	男性(30歳代)・感染者
5	梅毒	2	65	男性(20歳代)、男性(30歳代)
5	百日咳	3	75	男性(10歳未満)、女性(10歳未満)、男性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の疾患	発熱(40.0)	0	女	2019/08/28	髄液	コクサッキーウイルスB5型
その他の疾患	発熱(38.6) 嘔乳不良 活気不良	0	男	2019/09/09	咽頭拭い液 髄液 糞便	コクサッキーウイルスB5型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載